

刊夕日十月八



刊日
定額一冊五錢
廣告料五錢
印刷所 常磐毎日印刷株式会社
電話 六三〇

日本精神と神社 (五)

石城郡神社總代人大會席上演筆記

國學院大學教授 河野省

國旗として是れ程神々しく懐かしく清々しいものは世界中に無いのであります。元來太陽のことでありますから、世界中何處の國が國旗にしても差支ないのではありませんが、今まで世界で日の丸を國旗にした國はない。殊に英國の如きは、我が領土に太陽の没する處なしと威張つて居る位であるから疾く日の丸の國旗を作りさうなものであるけれども矢張り其の國旗は作つて居ぬ。私の思ひますのは、それは大きな聲では云へないけれども語り、かういふ特色のある心を持つた國民でなければ柄に合はないのであります。これは正に日本精神を表彰したもので、日本精神の神々しさ懐かしさ清々しさを現はして居ると云つてよい。斯云ふ心が日本文化を作るのである、日本の武士道でも國体でも皆この心がつたのであります。(拍手が起る)

此に基督教の御方が居られるかも知れませぬが、基督教の方で謳ふ讚美歌と云ふものがあります。所が此

とくいつくしみたまふわががすめらぎをば、めぐみにめぐみて、千代よろづ代までさかえさせたまへ。

まるで御大典の歌のやうであります。斯う云ふ具合に基督教會のさん美歌も改めねばならぬ。皆さん之れをみても如何に、日本心の神々しさ清々しさの力が、包容性が強く同化力が深いと云ふ事にお氣が付くであらませう。

常磐 文藝

木精

佐藤藤一

木精の魂ゆるすすゝりなきにもたる肌さむきみ山の夕ぐれの木人の形ちの松の木あり見わたす四邊は幽谷なりもしあの松の木折る人あらば木精つひにゆくとくなく無えんのほとけと魂化して人の世なかくのろはなん

科學にたける人間の智よ深くくひあれかし

故高岡唯一郎
故伊藤芳吉
山崎故忠治
右本年新盆に相當り候處時節柄提灯その他供物一切御辭退申上度此段謹告仕候
八月九日

山崎吉平
伊藤淺之助
高岡文夫

亡息茂儀新盆の處時節柄御供物一切御遠慮申上候
舊七月

森本盛一

亡喜代子儀新盆に相當り候處時節柄佛前供品一切御辭退可申上候付不惡御了承相成度候 敬白

新田町 清野音吉

亡父勝二儀本年新盆に相當り候處時節柄故人の遺志に依り提灯の御贈與辭退仕度此段御諒承願上候

鹽坂幸子

電話一九二番

CAFE SEKAI
カサノ音界
美しいオアシス世界の麗女はいと久しく御身の來るを心して待てり……

御新佛御供養の……
御法名入提灯の大奉仕
瓜形 一對房付 金一圓五十錢より
角形 同 金一圓九十錢より
其他岐阜提灯種々取揃へてあります是非御下命は電話九五番
平四丁目
スガノヤ提灯店

漆器は 高尚優美、重寶な器物
大暴落の最低値段時代
御中元の御贈答に
共の漆器を……
共は漆器専門店にて在庫品各種豊富に取揃へ破格の大勉強を致します
是非一度御照會を
各國産漆器専門御小賣
共榮漆器店
平町三丁目北裏
(元郵便局裏通り)

新任知事の腹を探りに

小名濱から出縣

漁港工事が變更されては同町の死活問題也として

石城郡小名濱町會は去る八日午前十時より開かれ今回新任せる赤木知事の方針變更に依り小名濱港灣工事を豫算並びに工事範圍で縮少される様な事が有つては同町の死活問題であるとして對策を練り昨日九日鈴木町長外立花吉田熊谷の各町議が出福して赤木知事に陳情した

産業組合

事務研究

石城産業組合では来る廿一日午前九時より四倉小學校に於いて産業組合職員の仕事研究協議會を開く事になった

三勇士の戦友にも

御同情を通報する

安部大佐の感謝状

先般平町阿部政右門氏主唱となつて募集した肉彈三勇士の弔慰金九十五圓七十七錢に對し此程久留米工兵第十八大隊長陸軍工兵大佐安部幸二郎氏より左記の感謝狀到着した

謹啓炎暑酷烈の候悪し御清適の殺奉賀候、陳者今般上海派遣の當隊工兵〇隊の江下武二、北川丞、作江伊之助三伍長の戦死に對し御深厚なる感謝狀と御慰靈金九十五圓七十錢御送附下され正に拜受仕候。

濱三郡對校の

磐中戦績

杉浦調子悪く相双と泊中す

昨報警城中學校野球部にて

は昨日午前九時より双葉中學校グラウンドに於て行れた濱三郡中等學校野球大會に新人チームを出場せしめたが戦績は左の如く名投手杉浦調子悪く相中との對戦には十對九で惜敗し双中との對戦には十一對十にて辛勝した

四倉藩市場は

二十七日開場

郡内の秋蠶掃立終る 出荷は四萬貫を見込

石城郡下に於ける秋蠶は昨今殆んど掃立を終了したので四倉藩市場は愈々廿七日より開場する事になつたが出荷總數は四萬貫位と見られ昨年の三萬八千貫より多く見込んだのは出荷組合を獎勵した結果で取引相場は三十圓前後であらうと

古鍛冶町勝つ

古鍛冶町對鍛冶町チームの野球試合は昨日午後一時より平商グラウンドに於て行はれたが十六對七のスコアにて古鍛冶チーム大勝した

平第一の臨海學校

今日のはなつかしい平、戀しるるかと思ふと心

がわく／＼する、今朝は皆早く目を覺ました様です。「起床」が待ち遠しい。思ひ出せば七日間の海岸生活、晝は大波小波寄せる海

| | |
|----|-----------|
| 相 | 501102010 |
| 一 | 二三四五七八九 |
| 雙 | 211002111 |
| 双 | 200303100 |
| 一 | 二三四五七八九 |
| 磐 | 421002101 |
| 浦 | 部中野成戸色坂野 |
| 中 | 杉阿田萩金井由石小 |
| 磐 | 投捕一二三遊左中右 |
| 11 | 10 |

先生の方に行つて「先生舟引き手傳つておくんなんしよ」「あぶなくはありませんか」「決してあぶなくはないから」と言ふので先生方は相談して舟引きを手傳ふ事になりました。皆で掛聲揃ひで引くと巨大なる四十八社丸もぐぐぐた妙な音を立て動き出します。かくこて引く事三十分、舟は海上に浮く事が出来た。方舟たちも皆うれしうです。恐しい様な顔にも感謝の念を表してゐるやうです。

先生方の父兄に勝るお骨折り樂しかつた臨海學校にやつて下さつた、家の人々に厚く御禮申し上げます。(八月八日)

本日縣下警察署長の更迭發表あり平警察署長伊藤儀七氏は休職、後任は喜多方警察署長小田部秀夫氏と決定した

平警察署長の更迭

季節御料理

- 柳川 一人前 金二十五錢
- うな井 金三十五錢
- 蒲焼 金五十五錢
- 右大々勉強出前迅速
- ◎滋養豊富!風味美味!
- 是非一度御試食を!
- 大蒲焼・鳥料理
- 壽司・折詰仕出し
- 魚 榮
- 田町(電話四二四番)

貸切の御用命は?

獅子吼(四四九)ノ勢デ
眞先ニ……………(マツサキ)
三九二タクシーへ!!!

舊盆を前に控えて

貧困家庭を救済

百七十九名に割當金を交付

けふ助成會から

既報平町の共済事業後援團
体として新設された助成會
の第一回總會は本日午前十
時より町役場會議室に於い
て開會し會則の制定並に舊
盆に於ける貧困者救済とし
て至町内に四十五百七十
九名に對して五十七圓十錢
を割當る事等を協議し散會
した

桃の品評

終つて即賣

石城郡平窪村農會及び郡農
會では明十一日午前八時よ
り藤田女學校に於いて桃の
品評即賣會を開催し午後よ
り即賣を行ふと

懷山故

新進作曲家

中野篤親君

漂然と平町に來り

音樂講習會を開催

平地方より東都音樂界への
進出者は殆んど絶無の姿で
轉た寂寥の感に耐えぬもの
あつた處

磬中在學 時代から音
樂に興味を有し専心此の方

新躍る

作曲家は

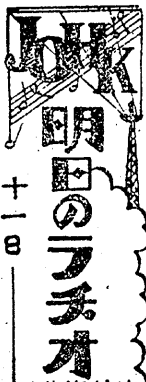
篤ちやんを推薦

門馬直衛記

篤ちやんは福島縣の人だ、
平の中學を出てから彼に動
搖時代は來た、左か右かに
迷つた彼は、青年の情熱を

面への精進を怠らなかつた
中野甲藏氏の息子中野篤親
君は武藏野音樂學校に入學
研究の効あつて同校卒業後
斯界にその豊かな天分を認
められた新進作曲家として
胸の底に秘めて彼の父の銀
行に這入つたが、一年後
に彼は殆んど獨學で上野の
音樂學校のヴァイオリン科
に這つたが、あたら青年
ヴァイオリン學徒も病氣に
は勝てず一問もなく退いて
歸郷した、上野と福島縣の
平との間の汽車は幾回か彼
を運んだり、運び返したり

その名を 賣り出した
尊父の事業失敗に依つて故
郷の人々からは白眼を以つ
て追はれ孤々の聲を擧げた
思ひ出の我家とも別れて有
爲轉變の激しい世にあらゆ
る辛酸をなめながらも故山
平に對する愛着のさづなに
断ち切り難きものあり
篤親君は 此程酷著に
喘えぐ平町に漂然とその姿
を現はしたとして來る十五
日から一週間平陽女學校で
音樂講習會を開くといふ同
會は全々音樂に對する素人
の人々を歓迎する由にて簡
易な作曲とピアノを講習し
會費は一科目三圓、二科目
五圓であると平町の
精神文化 に貢献せん
とする若人篤親君の此の舉
した、昭和三年になつて彼
は作曲の手續どきを成田爲
三氏から受け始めた、約二
年の間に彼は頗る進んだら
しい、武藏野音樂學校で下
總氏に師事してから彼の技
巧は著しく牙えを見せた、
卒業以前に彼は既に可成り
多くの作品を出した。



明日のラジオ

報豫氣天
今晚も明日も東
南風晴れたり曇
つたり一時驟雨
の氣味

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
少年運動講座「水泳の手
ほどき」京田武男
後六、三〇 山と海の講座
「日本アルプス」八木貞助
後七、三〇 趣味講演「捕
鯨の話」志野徳助

後八、〇〇 管絃樂「これ
が音樂といふもの外」コ
ロナオーケストラ、指揮
佐藤清吉
後八、三〇 常磐津 淨瑠
璃常磐津和佐太夫外
後九、〇〇 連續漫談「珍
釋西遊記」終 孫悟空の
第三報告 古川綠波 伴

愛兒を轢かれて

自轉車を叩き壊す

自轉車乘りの災難

石城郡好間村字町田居住坑
夫住吉恒吉(〇)は昨夜十時
頃自轉車で平町よりの歸途
下好間地内で道路を横断せ
んとした同村高橋由之助
(三)の次男忠(三)に衝突全
治五日間の打撲傷を負はし
た處父親の由之助が立腹し
て飛出し住吉に喰つて掛り
自轉車を滅茶々に大破し
たので本日平署で兩名共取
調中

警備協議

夏井村消防組

石城郡夏井川消防組幹部は
去る八日午前九時より協議
會を開會し左の事項を決議
した

△小學校物置小屋の地盤
を本月十八日行ふ件△火
災防止ローソク立てを各
戸に備付る件△野菜類盜
難豫防警戒の爲消防員の
巡視する件△兒童水泳場
巡視監督の件

今朝の鯉

目下盛んに石城
郡小名濱町に水
揚される鯉は全
部金華山沖合の
漁獲に依るもの
で昨日より今朝
にかけて同港に入港した鯉
船は静岡縣焼津町の静岡丸
が四千本外二隻にいづれも
四千本宛を積んで水揚をし

困る様を

父親が失業し

見て娘が家出

石城郡磐崎村字藤原山田順

奏指揮福田宗吉
後九、四〇 全國ニュース
氣象通報 番組豫告

明日の部
前九、一〇 料理献立「鶏
卵饅頭の拵」法「梅田嬌菓
前一〇、三〇 婦人講座
「夏の芝居と女性」松居松
翁
後〇、〇〇 オリズムピク
大會(米國NBCロサン
ゼルス放送局より中繼)
後五、三五 講演「速記の
話」中村政夫

後六、〇〇 子供の時間
獨唱と齊唱 郡山市内小
學兒童
後六、三〇 夏期英語講座
(十一)河合逸治
後七、三〇 講演「毛利元
就公の薫代と百万一心」
水無頼徳太郎
後八、〇〇 放送舞臺「劇
勸善懲惡觀機關澤村宗十
郎一座」
後九、〇〇 俚謠「滿洲歌
謠」張同善外
後九、三一 滿洲より「北
滿に於ける施療狀況」醫
學博士野田九郎

平職業紹介所報告
回求人部
△卸賣 二十三才迄 尋卒
賣上の一割五分給(平町
某)
△女中 三十才迄 尋卒
仕着小使(平某食堂)
△出前持 二十才以下 尋
卒月五圓(平町某カフェ
某)

自動車運轉手

合格者の氏名

過般福島市にて行はれた本
年度第五回自動車運轉手試
驗中平署管内よりの合格者
は左の如くである

回求職の部
△鐵工 二十八才 高一修
給料面談(好間村某)
△魚店員 十四才 尋卒
給料面談(平町某)
△店員 十九才 中三半途
給料面談(群馬縣某)
△雜役 二十三才 尋四修
給料面談(大阪市某)

警中の同窓會

磐城

中學校同窓會にては本日午
後一時より母校に於て總會
を開き役員の改選を行ひ後
谷口樓に於て午後七時より
懇親會を催した

平町人事

回出生

△新川町五 玉木兼治郎氏
四男陌夫
△月見町一五 伊藤淳氏三
男三男
△三丁目三七 馬目松二郎
氏二女キミ

慕末の剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第二百二十三席 眞庭念流の達人櫻井五助

男が立たねえ……

山毛谷戸の源太郎は一同を伴れて本堂に來た、小坊主が茶を持つて參りました。それを飲んで一息吐いて源「さア皆ナ、行儀よく並んで呉れ、俺が云ふ事がある」何事かと一同坐り直した。時に源太郎が

事をお前一人に背負はして俺達に此婆にどうして居られる。親分の怨みを晴らした上は死ぬは素より覺悟だ、おめえ一人に罪を被せて俺達が生きてゐられるかそれ程俺達を婆に未練のある奴と思ふか、さアもう一言云つて見る、主の……

男はならうとして、これを背負つて行く云ふわけぢやア無え、生残つた者は残らず訴へ出て御所刑を受けるとも無駄な事だと思ふからそこで俺が一人で引受けて行く云つた。お前達がこの婆に未練があると思つて云つた事ぢやア無え、さういふ事ならば俺と一緒に死んでくれ

「尤もだ、死んでしまへ、何時まで生きてゐても同じ事だ、茲は潔く死んでこの次には御大名にでも生れ變つて來る。なア兄貴達ばかりが高萩の子分ぢやアなからう。俺達も親分から盃を貰つたもんだ此の儘黙つて引込んでおられねえ、さア殺して呉れ何處からでも斬れ」源太郎も困りました。そんなに命を粗末にする者はあるまい源「イヤ、おめえ方の云ふ事は尤もだ、然し後に阿母さんが残つてゐるからどうかその面倒を見てやつてくれ、シテ見れば此處は俺達に任して置いても宜からう」

「嫌だ、あんな解らねえ阿母の面倒は見られねえつまりあの婆さんが金に目が眩んで内濟にしたからこんな騒動も出來たんだ、何んと云つても俺達を一しよに連れて行かねえ中は此處は一ト足も下らねえ」源太郎いよゝ困つた。そこで五人がどうかさう云はさば阿母さんの世話をしながら親分の墓掃除をしてくれと頼み、茲でやうやう他の者は残る事を承知した。山毛谷戸の源太郎を始め五人の者は林藏を殺した事を自訴して立派に所刑を受けると決心してやがて東勝寺の和尙を呼び



源「コレ能く聞け、……」

胸へ付けては置かねえぞ」脇差をズイと引寄せた。源太郎これを聞いてハラと涙を流したが

源「ウム、よく云つた。無を親分がこれを聞いたら喜ぶであらう。俺が一人好い

○「オイ兄哥、大層なおめえ達は男だナ。此事は五人で引受けて名乗つて出ればおめえ達の男は上るだらうが俺達はどうなる、意氣地の無え奴だ、命が惜さに五人の者を御刑に付けたと

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病

林病 腸胃病 腸性病

門專 院醫科 院醫科

陽指 腸病 胃性

陽虫病

院醫科 院醫科

七〇一話電

科病柳花・科兒小・科内

院醫沼藤

町屋紺町平 應需院入

番五〇七話電

御家庭用 京清水焼 御前茶器 番茶器 組三〇錢 在荷豊富

川本 新家庭用ほうじ茶 一斤に付、四〇より 一、〇〇まで

斤 六〇 四半斤 一五錢 斤 四〇 一〇錢

香味本位の本場銘茶と 召上りませ

電三九六番

大勝園

御位牌と 佛壇佛具

橋木屋佛具店 平町新川町 電話一六三番

セメント 壁用材料 コールタール ペンキ塗料 板ガラス

磐城セメント株式會社 代理店 西村屋藥舗 平町二丁目「電三」

花外科專門 木村科醫院

入院自炊の便あり 平町五丁目橋際 電話三〇九番